



本人

子どもにツケをまわさない!【無所属 36歳】

埼玉県議会議員 (戸田市)

ふみひと

すがわら文仁



48号 発行者: 菅原文仁 戸田市本町 5-12-26-2F TEL/FAX 048-299-4949 (刷新の会戸田支部)
ホームページ sugawarafumihito.com メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

※すがわらレポートは、定期的に発行する気軽な県政報告です。

菅原文仁(すがわらふみひと) 【略歴】昭和50年7月30日 生まれ、36歳 戸田市立美谷本小学校 美笹中学校 埼玉県立伊奈学園総合高校 日本体育大学卒業(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社(現NPO)代表 平成17年 1,993票を賜り市議会議員当選(第2位) 平成21年 4,143票を賜り市議会議員再当選(戸田市歴代1位) 平成23年 16,350票を賜り県議会議員初当選(戸田市歴代1位) 【所属】県議会会派「刷新の会」(無所属を中心の9名会派) 幹事長代理 青年地方議員の会会員 若手政治家養成塾事務局長 戸田市体操協会会長 埼玉坂本龍馬会幹事 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせばなる、なさねばならぬ、なにごととも」【家族】父、母、妻(昨年末に結婚)【夢】努力した人が報われる社会を実現すること ※フェイスブック、ツイッター活用中です!



平成24年度の定例会報告

3月26日をもって埼玉県議会(2月定例会)が閉会いたしました。

知事提出議案では、平成24年度埼玉県一般会計予算(1兆6777億円)をはじめとする76議案が可決同意しました。また議員提出議案については、埼玉県観光づくり推進条例をはじめ、

東日本大震災で発生したがれきの受入れに関する決議、そして北朝鮮による拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書など6議案を可決しました。

私は予算委員会に登壇し、質問および討論を行ないました。また戸田市に係る主な県の事業は以下になりました。今後とも県民目線で真摯に県政改革を進めていきます!

平成24年度 戸田市内で行われる県の主な事業

川のまると再生プロジェクト



笹目川

自転車歩行者道の整備



県道朝霞藤線(美女木)

河川護岸の改修事業



笹目川

駅前再開発事業の促進



北戸田駅東1街区

心身障害児(者)支援施設等整備助成費



社会福祉法人戸田わかき会

歩道のバリアフリー化事業



県道練馬川口線(本町)

橋梁の架け替え事業



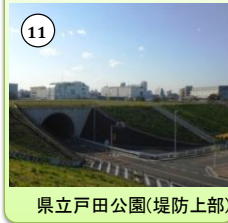
県道新曾川口線(辺島橋)

4号汚泥焼却炉の高温焼却化汚泥焼却灰の処分検討業務



荒川水循環センター

スーパー堤防上部の整備



県立戸田公園(堤防上部)

排水ポンプの改築事業



笹目川排水機場

13 第一次送水管路更新事業
老朽化した送水管路の更新

※赤字はすがわら文仁が提言して、成果に繋がった政策です



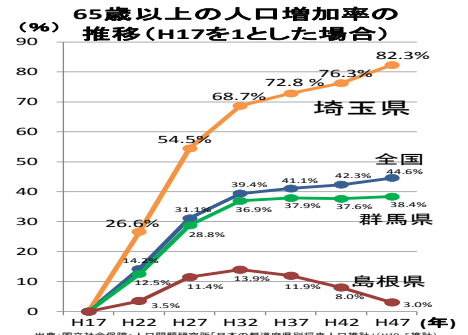
予算特別委員会の質疑・討論

①中長期の財政展望と計画について

すがわらの質問

高齢化社会への対処については、子を増やせば高齢化を解決できるというのは間違いであり「高齢者の絶対数の増」への対処で考えるべきであると思います。埼玉県の財政を先々考えれば、高齢者の絶対増を見据えた財政運営は特に重要です。

そこで埼玉県でも独自に精緻な調査を行ない、中期的・長期的な財政計画をつくり、予測に基づいた財政運営をしていくということが必要と考えますが、知事のご見解を伺います。



上田知事の答弁

リーマンショックは誰も予測できませんでした。当時埼玉県は6,000億前後の税収が8,000億まで伸びましたが、それがまた元の木阿弥となりました。たしかに長期的、精密に一定程度正確にやれば予測は可能ですが、私は意味がない事と思っております。なぜなら地方交付税は自分のところでどうにもならない部分であり、特に現在は国と地方の制度改革の端境期だからです。よって精密な中長期計画を立てても、この通りなるかといったらよくわかりませんと答えざるを得ません。しかし、人口の動態化については、ある程度の長期戦略が組めるので、意識的に考えているところで。

すがわらの一言
高齢化スピードが日本一早い埼玉県。急激に増加する社会福祉需要に対して、財政的な供給（負担）がどれくらいに膨らむのか。現在それを示すような県独自のデータはありません。一方、県債発行額は年々増加しており、埼玉県の財政はますます硬化し、厳しさを増しております。中長期的な県財政のプライマリーバランス均衡を確保するためにも、人口の動態化という視点で捉えた計画や目標を定めることは、急変する埼玉県こそ、必要な施策であると思います。今後も県の財政健全化を様々な角度から提言します。

②地方公務員人件費について

すがわらの質問

国家公務員の給与を2年間、平均7.8%削減し5,800億円を震災復興にあてる臨時特例法が成立しました。その法案の付則には、地方公務員の給与について「地方公共団体が、自主的かつ適切に対応されるものとする」とされています。県知事として人件費について検討すべきか、見解をお伺いします。

上田知事の答弁

事実、各都道府県は独自に定数削減や給与削減を行ってきました。平成11年度以降、都道府県の給与削減の総額は2兆円でしたが、国はゼロでした。職員数もこの10年間で一般行政職は18%削減しているが、国はわずか3%です。国は地方に半分ぐらい追いついた頃ですが、半分追いついたら全部俺らに続け、というのは大変失礼な話だと思っています。

すがわらの一言
埼玉県は住民一人当たりの公務員が日本一少ないスリムな自治体です。しかしラスパイレス指数（国と地方の給与額の比）は全国4位（23年度）と高位にあります。もちろん議員も含め、覚悟をもって給与や報酬見直しを進めるべきです。

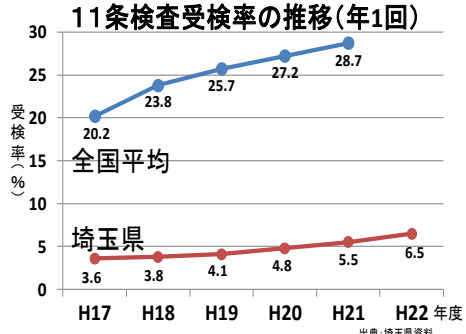
③浄化槽の維持管理対策について

すがわらの質問



からが正念場です。

浄化槽の維持管理は、①に清掃、②に保守点検、③に法定検査といわれますが、中でも年一回行われる定期検査「11条検査」が、埼玉県は6.5%で全国平均に比べて4分の1以下と非常に厳しい状況となっております。つまり浄化槽があるお宅の実に9割以上が法定検査を受けていないという事なのです。検査率の向上は、確実に水質改善につながるものですが、知事の水質の改善に向けた決意をお伺いします。



上田知事の答弁

確かにご指摘の11条検査に関してはまだまだ弱い部分があります。県内にある570の保守点検業者が、受検案内に携わる新制度を「これ、やらなくちゃいけないですよ」という形でやっていたことが大事です。主旨を徹底させるようにしっかりとやっていきたいと思います。いずれにしても浄化槽の維持管理と浄化槽の設置をセットでしっかりやらなければ、川の再生の真の意味での完成はありえないので、今後は非常に熱心に取り組んでいきたいと考えています。

すがわらの質問
浄化槽の適正管理は、法定検査のみで全体を網羅的に把握することはできないと考えております。むしろ、清掃はどれほど行われているのかの清掃率、保守点検はどれくらい行われているのかの保守点検率が把握できなければ、改善を図ることはできません。また実体として清掃率、保守点検率は8割から9割ぐらいというが、正確に把握されていません。今後、清掃や保守点検を把握する仕組みを作って、指導、勧告を徹底していくように取り組んでいくことも検討すべきだと思いますが、ご見解をお伺いします。

上田知事の答弁
平成22年度の法定検査を実施した37,000基の浄化槽では、実施率が清掃82%。保守点検が97%でした。清掃82%ということは18%も漏れているということです。清掃業を所管する市町村に紹介した上で、浄化槽設置者への指導を徹底していくしかないという事でありまして、保守点検と清掃を断固やっていたため、県として、指導してまいります。

すがわらの一言
埼玉県は海がありませんが、河川面積が日本一です。これまで私たちは縦横無尽に流れる川の恩恵にあずかってきました。しかし未だ生活排水や管理されない浄化槽からの汚水により、水質の改善が遅れています。戸田市にも2,000基以上ある浄化槽。その管理の適正化は、放置されてきた課題でもあるのです。

④社会科地図帳問題について

すがわらの質問

現在、中学校、高等学校で使用される教科書は、台湾と中国の間に国境が記載されていないばかりか、中国の行政区分下に台湾があります。さらに中華人民共和国の都市として台北が表記されています。そもそも台湾に対する我が国の公式見解は2つあります。

①台湾の領土的な位置付けに関して独自の認定を行う立場にはない。

②『台湾が中国の領土の不可分の一部である』という中国政府の立場を十分理解し尊重するという立場であります。特に②については、日中国交正常化の共同声明を行う際「台湾は中国の一部」を認定せよと要求した中国政府に対して「理解します」と表明しただけに過ぎないのです。

つまり「中国の一部」を領土的な事実として承認したわけではないのです。

しかし文部科学省は「中国の主張通りの地図」を適切と判断して、長い間正しくない情報を全国の中高生に教え続けているのです。このような教科書の現状であります。埼玉県では、台湾についてはどのように教えているのでしょうか。教育長に伺います。



国境がなく、中国の一部となっている教科書

教育長の答弁

各学校では、学習指導要領に基づいて、指導を進めているところです。中学校では、世界地理を1年生で学習する事になります。地理の教科書によっては、台湾をコンピュータなどのハイテク産業や工業の盛んな地域として取り上げ、学習することになっております。高等学校では、地理は選択科目でございます。高校地理の教科書によっては、台湾の経済発展、台湾と中華人民共和国との関係、台湾と日本の経済・文化的な関係などを取り上げ学習することになっております。（時間切れにて終了）

すがわらの一言
日中共同声明に署名を行った大平元外相は、後に「中国側は『不可分の領土』といい、日本はこれを『理解し、尊重する』』と書いたが『承認』するとは書いていない」と説明しています。こういった政府見解からも乖離し、子供たちに正しくない理解をさせてしまう教科書は、何かの意図を感じますし、世界一親目と言われる台湾の方々への尊敬を著しく傷つけるものです。これは、文部科学省の教科書図書検定基準にある「図書の内容に誤りや不正確な記述がないこと」といった基準にも合わない部分があると感じざるを得ません。文科省は、見直しを行うとともに、是正すべきです。また県教委としても、しっかり意見を具申したいです。

【予算案に対する賛成】

刷新の会を代表して、平成24年度埼玉県一般会計予算に賛成の立場で討論を行いました。賛成の主な理由として、歳入では予算総額を一定確保しながらも自立性をしっかりと確保していること。そして歳出では、それぞれの施策が、乗数効果や波及効果の期待できる政策展開となっていることを評価いたしました。（予算案は可決されました）

可決した主な議案の概要

知事提出分（24年度予算以外）

【条例】

埼玉県水源地域保全条例

北海道などで発覚した外国資本による森林買収が相次いでいる問題に対して、埼玉県で、荒川などの水源地域を将来的な買収から未然に守るねらいで定めた全国2例目の条例です。貴重な水源地域に関して、県、県民及び土地所有者等の責務を明確にして、地域内の土地の所有権の移転等について必要な事項を定め、水供給源としての水源地域の維持に寄与する事を目的としています。

埼玉県医師育成奨学金貸与条例

医師の確保が必要な地域、または診療科等に勤務する医師の育成及び確保を図るために、これまでの県内から拡大し、県外の大学の医学生に対しても、有利な奨学金の貸与制度を設けた条例です。昨年9月議会で提案した医師確保のための政策が条例になりました。

知事の調査等の対象となる法人を定める条例

県が出資する法人について調査等の対象範囲を拡大して、より透明性を高める目的で改正された地方自治法施行令に伴って定めた条例です。

【補正予算】

平成23年度埼玉県一般会計補正予算

| | |
|---------|----------------------|
| 歳入歳出補正額 | △312億5,683万2,000円 |
| 累計額 | 1兆6,752億9,759万1,000円 |

議員提出分

【意見書】

北朝鮮による拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書

年金制度抜本改革の全体像を早期に示すことを求める意見書

戸別所得補償制度の見直し等の農業政策の立て直しを求める意見書

拙速な人権救済機関の設置を目的とする法律の制定に反対する意見書

【決議】

東日本大震災で発生しがれきの受入れに関する決議

がれき処理に対する安全性を十分確保した上、住民に対し広く理解を頂けるように努め、県内市町村に積極的に働きかけるなど、被災地の復興に向けた支援に引き続き取り組むことを強く求めた決議です。埼玉県は岩手県の要請を受け、木くずの受入れを検討しています。岩手県では、県で発生する廃棄物の11年分のがれきが現在も山積みとなっており、がれきのある野田村は福島原発から約310kmと、さいたま市の約210kmよりも遠くにあるのです。野田村の災害廃棄物仮置き場での空間線量率は、毎時0.034~0.045マイクロシーベルトで、埼玉県の空間線量率の平均値より低くなっているように、被災地のすべてのがれきが放射性物質に汚染されているわけではありませんし、がれき受入れは、私たちが本心に復興のお役に立てる事の一つです。もちろん、がれき処理に対する安全性を十分確保する事が大前提ですが、自治体は、少しでも県民に理解をしていただけるよう取り組むべきと思っています。

【条例】

埼玉県観光づくり推進条例

この条例は、県の観光づくりについての基本理念を定め、県の責務並びに県民、観光事業者及び観光関係団体の役割を明らかにするとともに、観光づくりに関し必要な事項を定めることにより、県民生活の向上及び県民が誇れる地域社会の実現に寄与する理念を定めた条例です。

刷新の会の動向

視察報告（2月15~16日・大阪府）

刷新の会の視察では、大阪府議会に訪問しました。府議会では、橋下徹大阪市長が率いる「大阪維新の会」が現在進めている大阪都構想や教育基本条例などについて、実際に現場で議案に携わっている議員の苦労話などを交え、深く掘り下げて説明をしていただきました。改革を目指すそれぞれの立場で努力しようと思いを一致しました。一党一派に縛られず、県民本意の立場で大胆に県政を改革することを基本理念とする我が会派としても、大変大きな刺激になり、より一層結束が強くなったと思います。



大阪維新の会の皆様と

意見書の提案

| 意見書要旨 | 可否 |
|--------------------------------------|-----|
| 成年被後見人の選挙権行使見直しに関する意見書 | 不採択 |
| 日銀法の改正を求める意見書 | 不採択 |
| 都市再生機構賃貸住宅を公共住宅として継続し居住者の居住安定を求める意見書 | 不採択 |

残念ながら今回は全ての意見書が不採択となりました

各種の質問について

代表質問として、鈴木正人議員（志木市選出）が、平成24年度の予算における県内の経済活性化策について提言し、一般質問として、藤澤慎也議員（越谷市選出）が地方主権のための新たな統治機構モデルを埼玉から行うべき、と提言しました。

また、新年度の予算を審議する予算特別委員会では、中屋敦慎一議員（鴻巣市選出）が、グローバルな人材育成について提言し、小野典義議員（桶川市、伊奈町選出）が、さいたま新都心8-1A街区の新病院の機能向上について提言しました。そして私も、左記の4つの政策について、提言を行いました。

刷新の会は、今後とも、政党組織や団体の言いなりになることなく、また数の論理によって県民視線を見失うことなく、本当に必要な事業の提言と、徹底した改革に、若い力を終結し、全力で取り組んでまいります。

編集後記

埼玉県議会議員として議席をあずかり、早くも1年が経過しました。振り返ってみると、県政の予算規模や守備範囲の広さ、また県議会の意思決定過程のクラシカルさに相当驚かされるながらも、当たって砕ける！精神で、無我夢中で体当たりして、何となくではありますが、手ごたえを感じつつある今日この頃です。県議会での2年目へ臨むにあたり、私は、さらなるチャレンジ精神と課題解決力を磨いて、市民の声なき声に耳を澄まし、努力が報われる社会を作るといった初心を忘れずに、日々勉強し、行動して参りたいと考えております。今後とも、市と県のかげ橋となりつつ、ブレない信念と情熱で、挑戦を重ねて参りますので、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

菅原文仁

すがわら文仁の一行日記

2月（如月）

- 1日 学生インターンシップ開始
- 3日 新曽公民館まつり
- 4日 川の再生交流会（さいたま市）
- 6日 **常任委員会視察**
（JRの新駅にて中原農産と）
- 7日 県議会政策調査
- 8日 県警打ち合わせ
- 9日 県議会政策調査
- 10日 県議会政策調査
- 11日 とどろびJC活動
- 12日 田中前代議士新春のつどい
- 13日 新座市議選応援
- 14日 **刷新の会・団会議**
（刷新の会控室にて）
- 15日 会派視察（大阪府）
- 16日 会派視察（大阪府）
- 17日 個人視察（草加市）
- 18日 笹目美女木地区小学校音楽フェスティバル
- 19日 県議会予算議案読み
- 20日 2月定例会開会
- 21日 県議会予算議案詳細説明
- 22日 県議会予算議案詳細説明
- 23日 県議会議案調査
- 24日 県議会代表質問
- 25日 学生インターン交流会
- 27日 県議会代表質問
- 28日 県議会一般質問（1日目）
- 29日 県議会一般質問（2日目）



3月（弥生）

- 1日 県議会一般質問（3日目）
- 2日 県議会議案調査
- 3日 新曽公民館祭り
- 4日 戸田サスケ大会
- 5日 県議会議案調査
- 6日 **県議会予算特別委員会**
（登壇）
- 7日 県議会予算特別委員会
- 8日 戸田中央看護専門学校卒業式
- 9日 県議会企画財政常任委員会
- 11日 東日本大震災追悼イベント
- 12日 県議会企画財政常任委員会
- 13日 県議会議案調査
- 14日 県議会社会福祉特別委員会
- 15日 美笹中学校卒業式
- 16日 県議会予算特別委員会
- 18日 **一日駅頭演説会**
（戸田公園駅にて）
- 19日 県議会予算特別委員会
（登壇）
- 21日 戸田市内福祉施設視察
- 22日 美谷本小学校卒業式
- 23日 県議会委員長報告
- 25日 ソフトボール開会式
- 26日 県議会閉会日
- 28日 市体育協会理事会
- 29日 明治大学校友会
- 30日 **学生インターン終了**
（菅原事務所にて学生と）
- 31日 来客応対



【すがわら事務所て学ぶ学生さんから一言】

こんにちは！菅原事務所て二か月間インターンをしていました横山です。菅原議員は、議会前は何日もヒアリングや視察をしており、質問の陰には膨大な調査が必要なのだと感じました。また看護学校の卒業式へ参加したり、県政レポートを駅で配ったり、地域の活動も行ないました。活動を通して自らの視野を広げることができ、人のつながりはとても重要なのだと学ぶことができました。これからは政治に無関心といわれがちな私たち若い世代も後にくる世代交代へ備え、政治とは何か考えていかなければならないと思いました。

横山なつみ（明治大学）

平成24年度 県民1人あたりの予算の使われ方と事業の概要

| | |
|--|--|
| 総務・市町村支援 およそ ¥9,200 前年度比 -11.8% | □ 市町村に対する総合的な支援(ふるさと創造資金等) 82億5000万円 □ 県有施設耐震・省エネ化事業 3億9200万円 □ 路線バスの利用促進 8700万円 □ 自動車税等コンビニ収納事業 6500万円 □ 行政手続きなどの電子申請システムの運営 4200万円 |
| 県民生活・危機管理 およそ ¥1,300 前年度比 -31.1% | [新]東日本大震災被災者への支援 15億5000万円 [新]災害時における帰宅困難者対策等の推進 1億7600万円 □ 文化芸術に親しめる環境づくり 13億5000万円 □ 外国人相談体制の充実・強化 1600万円 □ 県や市町村における業務継続計画の推進 400万円 |
| 環境・エネルギー およそ ¥1,700 前年度比 +0.5% | [新]道路照明灯のLED化の推進 2億7000万円 [新]埼玉エコタウンプロジェクトの推進等 1億4600万円 □ 家庭の電力自活の普及促進 8億3400万円 □ 県民提案によるみどりの埼玉づくりの推進 4100万円 □ 浄化槽の適正管理の推進 1900万円 |
| 福祉 およそ ¥40,000 前年度比 +3.8% | [新]24時間介護・看護サービスの普及促進 5200万円 □ 保育所持機児童対策の推進(受入枠4000人分の拡大) 53億円 □ 特別養護老人ホーム等の整備促進(特養他6532人分) 38億3800万円 □ 生活保護世帯の中学生に対する教育支援 2億8700万円 □ 障害者に対する就業と生活の一体的支援の推進 6800万円 |
| 保健・医療 およそ ¥7,800 前年度比 -3.2% | [新]さいたま新都心への医療拠点の整備 123億1900万円 [新]医学部調査・検討事業 2200万円 □ 県立がんセンター新病院の整備(H25年12月末予定) 90億9000万円 □ 医師の県内誘導・定着の促進 6900万円 □ 朝まで小児救急電話相談(※8000)の実施 4700万円 |
| 商工・労働 およそ ¥3,900 前年度比 -14.6% | [新]女性起業家や女性経営者への金融支援 融資枠:100億円 [新]埼玉観光・物産のブランド化の推進 4400万円 [新]障害者雇用対策の強化(積極的な県外企業を誘致) 2600万円 □ 中小企業の次世代産業参入支援 2億4800万円 □ 中高年齢者の就業支援 1億1100万円 |
| 農林 およそ ¥3,300 前年度比 -4.8% | [新]青年新規就農者に対する給付金の交付 3億3900万円 [新]農畜産物の放射性物質の影響調査 6900万円 [新]狭山茶ブランドの回復支援 6100万円 □ 埼玉農産物のブランド化の推進 3800万円 □ 農業の6次産業化の支援 3500万円 |
| 土木・まちづくり およそ ¥16,000 前年度比 -8.2% | [新]川のまるごと再生プロジェクトの推進(戸田市 笹目川他) 14億7900万円 □ まちのシンボルロードの整備 1億3100万円 [新]緊急輸送道路閉塞建築物耐震化の促進 1億2500万円 □ 防災関連公共事業(複合災害に備えた緊急対策等) 39億9100万円 □ 水と緑のサイクリングロードの整備 2億1100万円 |
| 教育 およそ ¥74,000 前年度比 -0.7% | [新]学びや育ちの連続性を重視した小中一貫教育の推進 800万円 □ 全中学校への相談員配置を支援 2億8800万円 □ 若者の留学支援 9000万円 □ 県立高等学校における職業教育の推進 2400万円 □ スポーツにおけるジュニア期からの競技力の向上 1500万円 |
| 警察 およそ ¥19,000 前年度比 -1.9% | [新]青色回転灯防犯パトロールの実施 3億1100万円 [新]警察官・非常勤職員の増員(41人増員) 1億1200万円 [新]信号機の停電対策の推進 7000万円 □ 自転車利用者や高齢歩行者の交通安全対策の推進 2億1100万円 □ 振り込み詐欺被害防止対策の推進 9300万円 |
| 議会 およそ ¥430 前年度比 -4.7% | 県議会議員の定数は94名(現在1名欠員により93名)、議員報酬は月額92万7千円(23年度は2割削減)となっております。今年度からの報酬、定数の見直しについては、刷新の会からの提案により、全会派からなる「議会あり方研究会」において、議論することになっております。 |
| 借金の返済 およそ ¥35,000 前年度比 +4.5% | 県民1人あたりの借金残高は、およそ 49万9000円 実際の額は、およそ 3兆6000億円 となっております。 |

※埼玉県の人口を約720万人として算出しております ※[新]となっているのは、今年度の新規事業です ※1人あたりの金額はおおよその目安です ※赤字はすがわら文仁が提言して、成果に繋がった政策です

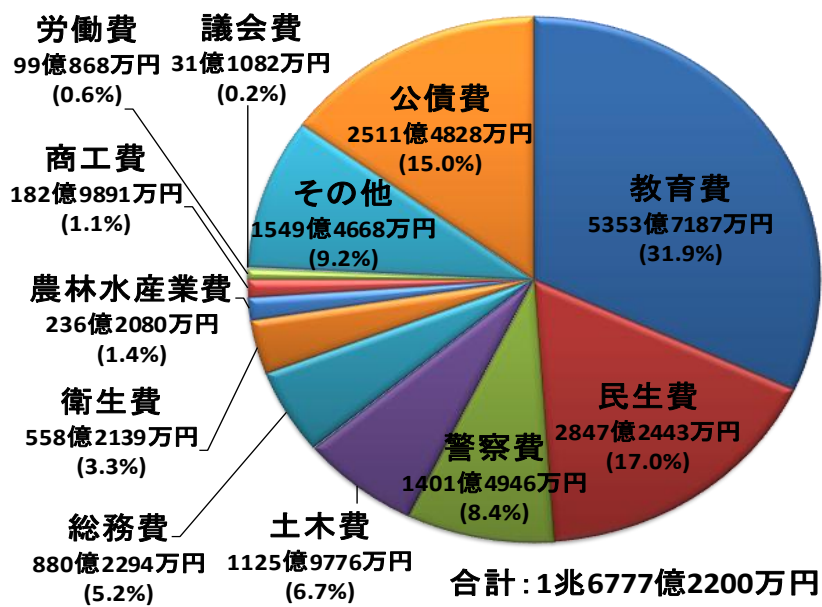
今回、知事の掲げた、**三大フロ** **ジェット(埼玉エコタウン、埼玉版** **クール/ミクス、健康長寿埼玉)** では、それぞれ専門に担当する課を新設しました！
県民生活・危機管理は、前年度比が大きく減少しております。これは平成23年度に、県立文化施設や防災ヘリコプターの整備、グローバル人材育成基金の積立などの事業を行ったためです。

福祉(民生費)のうち、**約40%**が**老人福祉**、**約11%**が**障がい者福祉**、**約20%**が**児童福祉**、**約5%**が**生活保護**に充てられています。
教育費は歳出予算の**約32%**を占めていて、その内、**約85%**は**教職員の給与**に充てられています。
警察費の内、**約82%**は**警察官・職員**の給与に充てられています。

一般会計予算総額は1兆6777億2200万円です。
県民1人あたりおよそ**23.3万円**となります。

0 4万円 8万円

平成24年度 埼玉県一般会計予算の内訳(歳出)



県債の推移

